



広報ひの 全国広報コンクール 総務大臣賞を受賞

「広報ひの12月号」が平成16年全国広報コンクール（日本広報協会主催）で、広報紙（町村部・1万人未満）で総務大臣賞（特選）を受賞しました。広報紙での特選は、昭和62年（17年ぶり）以来で2度目の受賞になりました。表彰式は、9月9日から開かれる第41回全国広報広聴研究大会（静岡県浜松市）で行われます。



本の読み聞かせなど日ごろの活動が評価

文部科学大臣表彰を受賞

町図書館

読書の楽しさを伝える

日野町図書館が、平成16年度子どもの読書活動優秀実践図書館「文部科学大臣表彰」を受賞し、4月23日に開かれた子ども読書活動推進フォーラムで表彰されました。

この賞は、積極的に子どもたちの読書活動について関心と理解を深め、特色ある優れた実践を行っている団体や個人を表彰するもので、今回、日野町図書館の活動成果が評価されました。

町図書館は、平成7年に新築開館以来、地元ボランティアなど地域一体となつて、子どもたちの読書活動に取り組んでいます。出前お話会や紙芝居、手づくり布本、木のおもちゃなどの貸し出しを通して、読書の楽しさを多くの子どもたちに伝えていきます。

皆さんからのお便りお待ちしております。
役場企画振興課まで

お便り

今回は、長尾昭さん（江府町久連）から日野町金持に広がる「ブナ原生林」について便りが届きましたので紹介します。



広々と続くブナ原生林

今回、日野町の朝刈林道終点から小尾根を県境尾根に向かって入山し、標高1,000m付近から出現する約7haの広さのブナ林を調査しました。

標高1,070mより県境尾根の直下1,170mまでの間に約4haの広さで原生林が存在しています。原生林の中で確認した幹周り（地上1.3m）3mを超えるブナの巨木計6本を確認。これらの推定樹齢は260年から380年ぐらいたらと思われる。なかでも幹周

りが4mを超える巨木が2本あり、大山でも少なく非常に貴重なものです。

今回の調査で、日野町内には貴重なブナ原生林が広い面積にわたり存在することが分かりました。さらに県境筋に原生林が続いている可能性があると思われるので、調査や環境の保護をしていただきたいと思います。

自然は貴重な財産です。いつまでもブナ原生林があり続けるまちであってほしいと願います。



幹周りが4mを超える巨木